



無所属・無党派 無駄遣いを許さない福祉充実の政治

発行者：さいたま 変革の会

# 川村 準 じゅん

## 10月20日号

〒336-0017

南区南浦和2-28-9-102

携帯 090-1404-2151

junkawamura1923@gmail.com

## 週間活動レポート

### ハコモノ

# 赤字垂れ流し、無所属以外の市議全員が賛成は問題！

日本は00年後半頃から人口減少社会に突入しました。さいたま市では人口増が続いていますが、中長期的には人口減が予想されています。そんな中、人口減に比例して市税の減少が見込まれます。その場合、赤字のハコモノ（建築物など）を維持する余裕があるのか。ハコモノの問題点をまとめました。

### 来場者が見込みの4分の1

今から4年前の2010年春に、さいたま市北区で大宮盆栽美術館がオープンしました。北区を含む旧・大宮市は盆栽の街として有名で、それを記念して建設されたのが盆栽美術館です。市当局は、建設以

建設費用は約10億5000万円をかけた建設しましたが、

### 市の財政状況は厳しく

それでは、果たして市の予算に余裕があるのか。実は、来年度に231億円の予算不足になるとの報道もあります（裏面参照）。私は、これ以上の赤字を少しでも縮小するために、美術館の閉鎖も含めた抜本的な改革を行い、余分な税金があるなら福祉に回すべき、と考

えます。また他の問題点として、同美術館の来

円前後の赤字となっています。また、展示する盆栽を5億円もかけて購入したのですが、既に6000万円相当を枯らすなど、管理の方も非常にずさんな状態です。

賛成と言えば、他の議員も同じ意見に思えてはなりません。

結果として、同美術館の建設は自民、民主、公明、共産、改革フォーラムと「無所属」以外の全ての議員が賛成しました。予算不足になるこの時代に赤字のハコモノ建設を進め、予算の大盤振る舞いを行う事は、最終的には市民に負担を強いるという事で市民を愚弄していると思います。